

月	単元・題材名	時数	主に学習すること	学習の目標	評価
4	<b>第1編 世界のさまざまな地域</b>	8	1 地球のすがたを見てみよう 2 地球儀と世界地図を比べてみよう 3 地球上の位置をあらわそう	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球を大まかに眺め世界の地理に関する関心を高める。</li> <li>世界の地域構成について、大陸と海洋の分布、地域区分を基に考える。</li> <li>世界の地域構成について、大陸と海洋の形状や分布、またおもな国々の名称と位置の知識を身に付ける。</li> </ul>	1
	<b>第1章 世界のすがた</b>		4 世界の国々と地域区分 5 おもな国々の国名と地域		2 3 4
5	<b>第2章 世界各地の人々の生活と環境</b>	12	1 雪と氷の中でくらす人々 2 寒暖の差が激しい土地にくらす人々 3 温暖な土地にくらす人々 4 乾燥した土地にくらす人々 5 常夏の島でくらす人々 6 山にくらす人々 7 低い土地にくらす人々 8 人々の生活に根ざす宗教 9 伝統的な生活とその変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界各地の人々の生活と環境の多様性について意欲的に追究し、とらえようとする。</li> <li>世界各地の人々の生活と環境の多様性について考察し、その過程と結果を適切に表現する。</li> <li>世界の人々の生活や環境が多様で、その暮らしが変化していくのは、自然的条件や社会的条件によることを理解する。</li> </ul>	
6	<b>第1章 歴史のとらえ方</b>	5	1 歴史学習のはじめに 2 歴史の大きな流れを見てみよう 3 歴史の調べ学習をするには…?	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の歴史の大きな流れや時代の特色に対する関心を高める。</li> <li>時代の大きな移り変わりに気付くとともに、年代の表し方や時代区分について理解できる。</li> </ul>	
7	<b>第2章 古代までの日本</b> 1 節 文明のおこりと日本の成り立ち	8	1 世界の古代文明と宗教のおこり 2 ヨーロッパの古代文明とイスラム教 3 日本列島の誕生と縄文文化 4 弥生時代と邪馬台国 5 大王の時代	<ul style="list-style-type: none"> <li>古代文明や宗教のおこり、日本列島における人の生活のあらましに対する関心を高める。</li> <li>大和政権による統一など、国家が形成されていったあらましが理解できる。</li> </ul>	
	※平和教育プログラム	1	「平和記念都市に込められた思い」		
8	2 節 古代国家の歩みと東アジア世界	11	1 聖徳太子の政治改革 2 大化の改新 3 律令国家の成立と平城京 4 奈良時代の人々の暮らし 5 天平文化 6 平安京と東アジアの変化 7 摂関政治と文化の国風化 8 この時代の特色をとらえよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>天皇・貴族の政治が展開され、国際的な要素を持った文化が後に国風化したことに関心を高める</li> <li>聖徳太子の政治から大化の改新を経て確立した律令国家の特色について考える。</li> <li>大陸の文化を積極的に取り入れた文化が都を中心に栄えたことを理解する。</li> </ul>	
9					
10	<b>第3章 中世の日本</b> 1 節 武士の台頭と鎌倉幕府	7	1 武士の成長 2 武家政権の成立 3 武士と民衆の生活 4 鎌倉幕府の文化と宗教	<ul style="list-style-type: none"> <li>武家政権が成立したことに対する関心を高める。</li> <li>武家社会が発展した流れを多面的・多角的に考える。</li> <li>鎌倉時代の新しい文化や仏教の特色が理解できる。</li> </ul>	
11	2 節 東アジア世界とのかわり社会の変動	13	1 モンゴルの襲来と日本 2 南北朝の動乱と室町幕府 3 東アジアとの交流 4 産業の発展と民衆の生活 5 応仁の乱と戦国大名 6 室町文化とその広がり 7 東アジア世界の朝貢体制と琉球王国 8 この時代の特色をとらえよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>モンゴルの襲来、日明貿易、琉球の国際的役割など、東アジア世界とのつながりに関心を高める。</li> <li>モンゴルの襲来や日明貿易が日本の政治や社会に与えた影響について考える。</li> <li>鎌倉幕府の滅亡から戦国大名の登場までの武家社会の展開を理解できる。</li> </ul>	
12	<b>第3章 世界の諸地域</b> 1 節 アジア州	6	1 アジア州をながめる 2 経済成長がいちじるしい中国とインド 3 急速に変わる東南アジア 4 多様な民族と経済成長	<ul style="list-style-type: none"> <li>アジア州を大まかに眺めることができる</li> <li>アジア州の主な産業がわかる。</li> <li>日本との関わりと課題が理解できる。</li> </ul>	
	2 節 ヨーロッパ州	6	1 ヨーロッパ州をながめて 2 ヨーロッパ文化の共通性 3 進むヨーロッパの統合 4 ヨーロッパの課題とロシア連邦	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヨーロッパを大まかに眺めることができる。</li> <li>ヨーロッパの統合の動きと課題が理解できる。</li> <li>ヨーロッパ文化の共通性が理解できる。</li> </ul>	
1	3 節 アフリカ州	5	1 アフリカ州をながめて 2 アフリカの産業と新たな開発 3 アフリカの課題と展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>アフリカ州をおおまかに眺めることができ、産業の特色と課題が整理できる。</li> </ul>	
	4 節 北アメリカ州	6	1 北アメリカ州をながめて 2 広大な国土と工業化した農業 3 アメリカで生まれた生活・文化 4 多民族多文化社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>北アメリカ州をおおまかに眺めることができ、アメリカ文化・産業・農業の特色を理解できる。</li> <li>多民族社会の問題点が理解できる。</li> </ul>	
2	5 節 南アメリカ州	5	1 南アメリカ州をながめて 2 自然環境と共生する人々 3 開発の進行とその影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>南アメリカ州をおおまかに眺めることができ、開発による自然破壊の問題点が整理できる。</li> </ul>	
	6 節 オセアニア州	5	1 オセアニア州をながめて 2 資源によるアジアのつながり 3 人々によるアジアとのつながり	<ul style="list-style-type: none"> <li>オセアニア州をおおまかに眺めることができ、オセアニア州と日本との関わりが理解できる。</li> </ul>	
3	<b>第1章 日本のすがた(地理)</b>	7	1 日本の位置を調べよう 2 日本の領域の特色を見てみよう 3 各国の標準時と日本の時差 4 いろいろな見方で都道府県を見よう 5 日本をいくつかの地域に分けよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の国土の位置及び領域の特色と変化を世界的な視野から多面的・多角的に考え、日本の現状を位置と領域の面から理解できる。</li> </ul>	